

Pioneer

マルチ CD コントロール チューナー デッキ アンプ

KEH-P1000

取扱説明書

carrozeria

目次 4 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

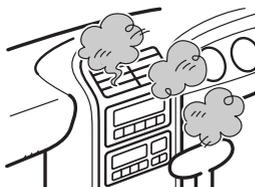
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 別売のリモコンを使う 7

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 8
- 2 テープのふだんの操作 10
 - テープをセットする
 - 再生する面を選ぶ
 - 音量を調節する
- 3 ラジオのふだんの操作 12
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する
- 4 マルチCDのふだんの操作 14
 - CDを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する

テープ テープを聞く

- 1 早送り/巻き戻しや頭出しをする 16
- 2 同じ曲を繰り返し聞く 17
- 3 長い無音部分を 自動的に早送りする 17
- 4 早送り/巻き戻し中に ラジオを聞く 18
- 5 ドルビー B NR 18

ラジオ ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を 自動的に記憶させる 20
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 20
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 21

マルチCD マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚) 22
- 2 おおまかに選んでから 聞きたいCDを選ぶ (50枚) 22
- 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く 23
- 4 いつもと違う曲順で聞く 24
- 5 CDのタイトルを表示させる 24
- 6 CDのタイトルを記憶させる 25

音の調節 音を調節する

- 1 イコライザーカーブを選ぶ 26
- 2 オーディオ調節モードの 切り換えかた 26
- 3 前後左右の音量バランスを調節する 27
- 4 お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する 27
- 5 小音量時の音にメリハリをつける 28
- 6 前にステージがあるような 感じにする 29
- 7 各ソースの音量の違いをそろえる 30

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

その他

その他の機能と付録

1	交通情報を受信する	32
2	時計を表示させる	33
3	初期設定モードの切り換えかた	33
4	時計を合わせる	34
5	外部機器の音声を聞く	35
6	テレビのときに オートアンテナをのばす	36
7	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	37
8	外部機器の名称を入力する	37
9	故障かな？と思ったら	38
10	テープの正しい使いかた	40
11	保証書とアフターサービス	41
12	おもな仕様	42

はじめに

テープを聞く

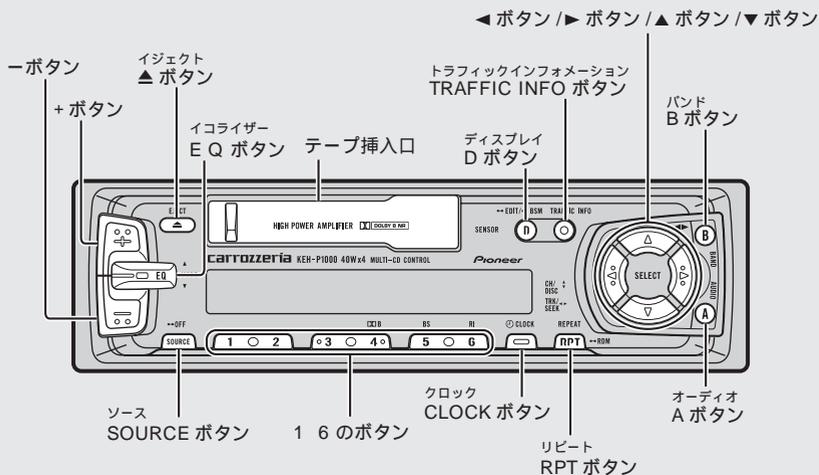
ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

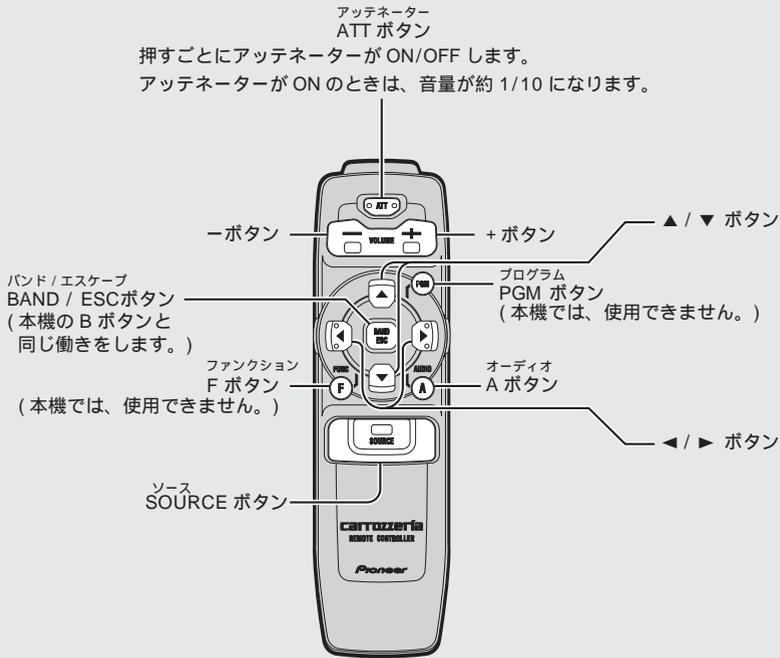
その他の機能と付録

本機 KEH-P1000



別売のリモコン「CD-R600」について

別売のリモコン「CD-R600」で、本機を操作することができます。
リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



メモ

別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR77」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。

ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 1 枚型CD (別売)
- テレビ (別売)
- ラジオ (FM/AM)
- テープ
- マルチCD (別売)
- エクスターナルユニット 1
- AUX (外部機器)
- 1 枚型CDに戻る

テレビとして、6.0型 AVシステムTV
「AVX-P600」は接続できません。

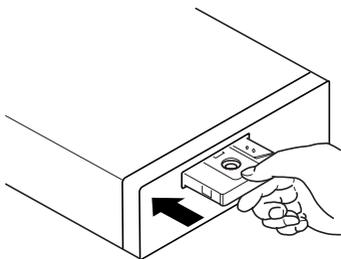
2 電源を切る

SOURCE ボタンを1秒以上押す
本機の電源が切れます。

ここだけの操作で、テープを聞くことができます。

1 テープを セットする

テープ面を右側にして、挿入口に差し込む



テープの再生が自動的に始まります。



メタル/クロームテープの場合、“MTL”の表示が点灯します。

2 再生する面を 選ぶ

B ボタンを押す

ボタンを押すごとに、再生する面が切り換わります。



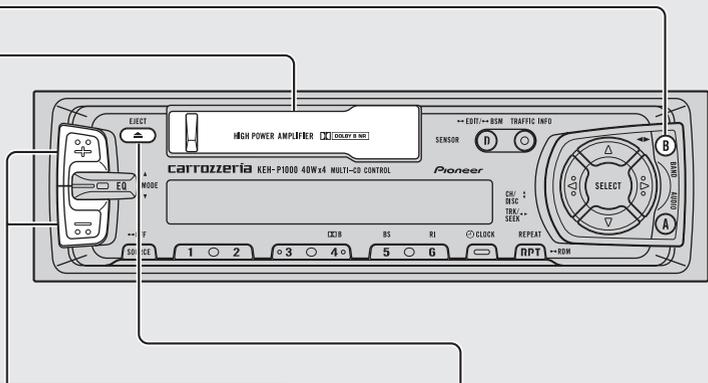
||||| (上にした面を再生)

||||| (下にした面を再生)

メモ

テープをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(E37) ここだけで①8ページ

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

+ または - ボタンを押す
+ : 大きくするとき
- : 小さくするとき

0 ~ 30 の範囲で調節できます。

約 4 秒間、音量が表示されます。

4 テープを取り出してテープ再生をやめる

▲ ボタンを押す
テープが出てきます。

出てきたテープはすぐに取り出して、保管してください。

または他のソースに切り換えるか電源OFFにする (※ ここだけで 8 ページ)

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信
すると表示されます。

2 バンドを 選ぶ

B ボタンを押す

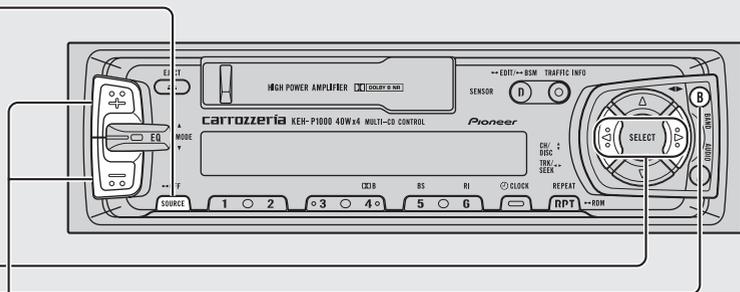
ボタンを押すごとに、次のようにバンドが
切り換わります。



F I (FM1) F II (FM2)
A II (AM2) A I (AM1)

FMとAMのどちらとも、より多くの
放送局を記憶できるように、IとIIの
バンドに分かれています。(受信できる
周波数はIとIIのどちらも同じです。)

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ) 0.5秒未満

自動選局 0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を調節する

+または- ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで①8ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す
マルチCDの再生が始まります。



再生経過時間

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



CD番号

マルチCDを2台以上 接続したときは

再生するマルチCDを選ぶことができます。

B ボタンを押すごとに、次のマルチCD
の再生に切り換わります。

M-CD 1 M-CD 2 M-CD 3

M-CD 1に戻る



約2秒間表示されます。

メモ

マルチCDプレーヤーによっては、別売のIP-BUS
拡張アダプター「CD-P33」などを使うと、複数
台接続できます。接続できる台数については、
IP-BUS拡張アダプターの説明書をご覧ください。
(「CDX-P620S」などが複数台接続できます。)
マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの
情報の読み込みなど) をしている場合があります。
このとき、ソースをマルチCDに切り換えると
“READY”が表示されます。

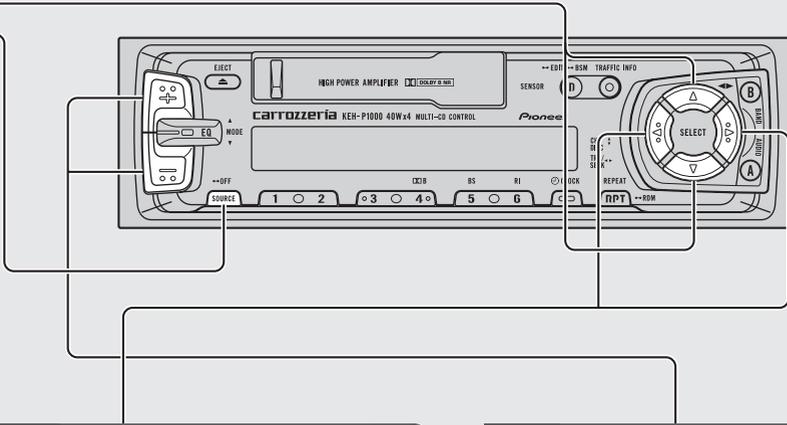
本機に、50連奏マルチCDプレーヤー「CDX-P5000」
を接続しても、次の機能は操作できません。

* ミュージックグループ別プレイ

* 演奏頻度別プレイ

* “ABC” ディスクタイトルサーチプレイ

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAG”が表示されます。



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択 0.5秒未満

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続けている間

4 音量を 調節する

+または- ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき

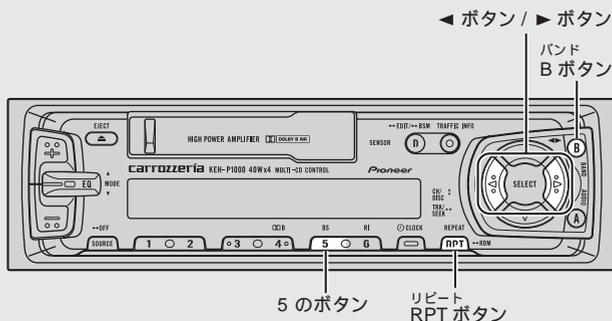


0 ~ 30 の範囲で
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源
OFFにする (☞ ここだけで①8ページ)



1 早送り/巻き戻しや頭出しをする

早送り/巻き戻し / 頭出し

早送り/巻き戻しをして、曲の聞きたいところから再生を始めることができます。また、次の曲の頭出しや、今聞いている曲の頭出しも簡単にできます。

テープを進めるとき

1 早送りや次の曲の頭出しをする

▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PLAY (通常の再生)

FF (早送り)

F-MS (次の曲の頭出し)

PLAY (通常の再生) に戻る

テープを戻すとき

1 巻き戻しや今聞いている曲の頭出しをする

◀ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PLAY (通常の再生)

REW (巻き戻し)

R-MS (今聞いている曲の頭出し)

PLAY (通常の再生) に戻る

メモ

早送り/巻き戻しや頭出しは、B ボタンを押しても途中で解除されます。

テープ
2

同じ曲を 繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピート再生を ON にする

RPT ボタンを押す

ボタン押すごとに ON/OFF します。



リピート再生中に表示されます。

今聞いている曲を繰り返し再生します。

メモ

リピート再生は、他のソースに切り換えたり、B ボタンを押すと、OFF になります。

テープ
3

長い無音部分を 自動的に早送りする

ブランクスキップ

テープ再生中に 12 秒以上の無音部分 (あき) があった場合、自動的に次の曲の始めまで早送りさせることができます。

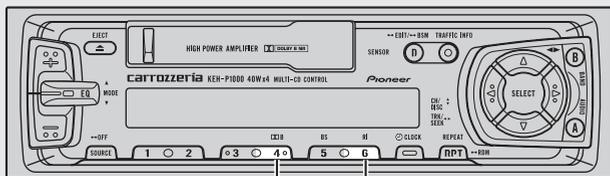
1 ブランクスキップを ON にする

5 のボタンを押す

ボタン押すごとに ON/OFF します。



ON、または OFF の表示が約 3 秒間表示されます。



4 のボタン

6 のボタン

テープ
4

早送り/巻き戻し中にラジオを聞く

ラジオインターセプト

早送り/巻き戻し中にラジオを聞くことができます。

1 ラジオインターセプトを ON にする

6 のボタンを押す

ボタン押すごとに ON/OFF します。



ON、または OFF の表示が約 3 秒間表示されます。

メモ

頭出し (F-MS、または R-MS) をしているときは、ラジオを聞くことはできません。ラジオインターセプト動作中はラジオの表示になります。

テープ
5

ドルビー B NR

ドルビー B NR ON で録音したテープを聞くときは、本機もドルビー B NR を ON にしてください。

1 ドルビー B NR を ON にする

4 のボタンを押す

ボタン押すごとに ON/OFF します。



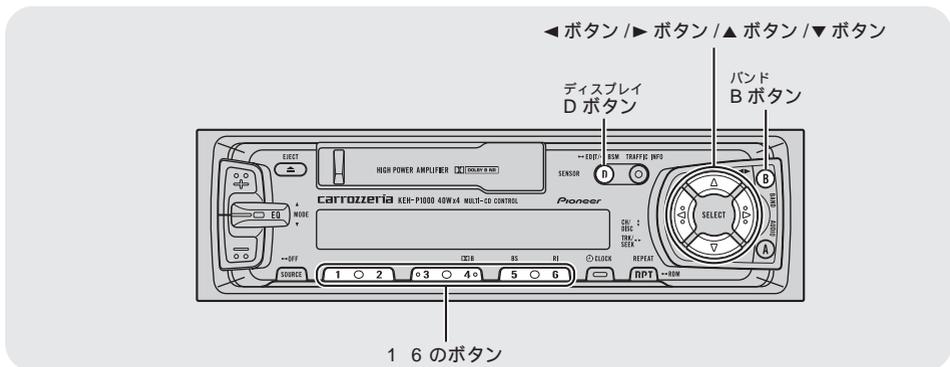
ドルビー B NR ON のときに表示されます。

メモ

ドルビー NR システムは、テープ再生中に生じる“サー”という雑音 (ヒスノイズ) を減らすシステムです。

ドルビー ノイズリダクションはドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY およびダブル D 記号はドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの登録商標です。

テープを聞く



ラジオ 1 複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ
B ボタンを押す (☞ ここだけで③ 12 ページ)

2 BSM を始める
D ボタンを2秒以上押す
(もう1度押すとBSMを途中解除)



記憶動作中に点滅します。



受信中の記憶番号

記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

メモ
受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。
記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ③)

ラジオ 2 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ
B ボタンを押す (☞ ここだけで③ 12 ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する
◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 13 ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

メモ
記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ③)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

B ボタンを押す (E37) ここだけで (E3) 12 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す
1 ~ 6 のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

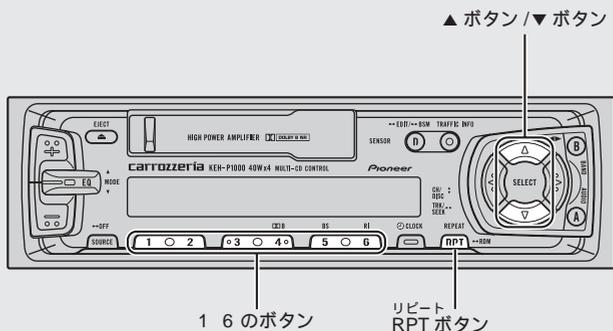
▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



マルチCD

1

聞きたいCDを 直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1

聞きたいCDを選ぶ

1 ~ 6 のボタンを押す

2秒未満：1 ~ 6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7 ~ 12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

マルチCD

2

おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚)

ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1

聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1 ~ 5 のボタンを押す

1：10 ~ 19枚目のCDを選ぶとき

2：20 ~ 29枚目のCDを選ぶとき

3：30 ~ 39枚目のCDを選ぶとき

4：40 ~ 49枚目のCDを選ぶとき

5：50、51枚目のCDを選ぶとき



CD番号

2

聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



CD番号

メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“LOAD”が表示されます。(※50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

マルチCDを2台以上接続したときは、マルチCDリピートの次に、オールリピート (ALL) に切り換わります。オールリピートにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。

1 再生範囲を切り換える

RPTボタンを押す



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

トラックリピート

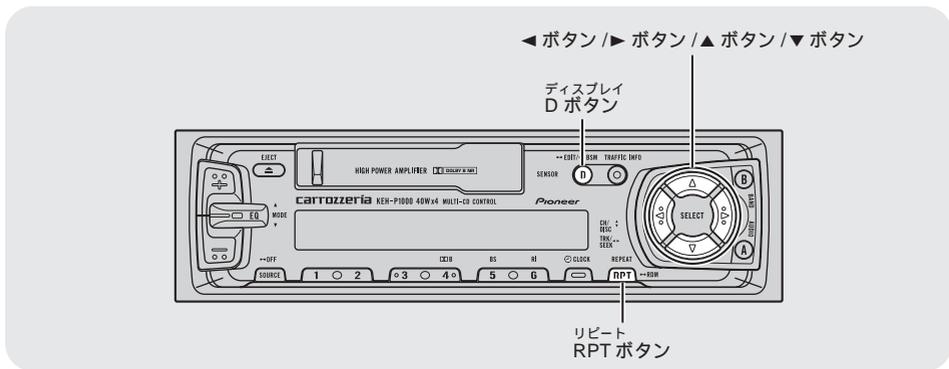
ディスクリピート

マルチCDリピート

オールリピート

トラックリピートに戻る

表示	再生範囲
／ RPT	トラックリピート
／ RPT (DISC)	ディスクリピート
なし	マルチCDリピート
なし	オールリピート



マルチCD
4

いつもと違う 曲順できく

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

1 再生範囲を切り換える (E 3 マルチCD 23ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダム再生をONにする

RPTボタンを2秒以上押す



ランダム再生中に表示されます。

次の曲から、ランダムに選曲します。



選んだ再生範囲が表示されます。

表示	再生範囲
— RPT (DISC)	ディスクリピート
なし	マルチCDリピート

メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、ランダム再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の曲がランダムで再生されます。

マルチCD
5

CDのタイトルを 表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル記憶 (E 3 マルチCD 6) で記憶させたCDのタイトルを、表示させることができます。

1 表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

曲番号/再生経過時間表示



経過時間

タイトル表示



入力したタイトル

曲番号/再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”が表示されます。

CDのタイトルを記憶させる

タイトル記憶

CDのタイトルを表示させる (④ マルチCD ⑤) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルは8文字まで入力できます。

タイトルは、CD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないICDの中で、いちばん古いICDの記憶が消されて、新しいICDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 タイトルを入力したいICDを再生する

▲または▼ボタンを押してCDを選ぶ (④ ここだけで ④ 14ページ)

2 タイトル入力モードにする

Dボタンを2秒以上押す

3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す



選んだ文字が点滅します。

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき

文字は_ (空白)、A~Z (アルファベット)、* + , - . / (記号)、0~9 (数字) の中から選ぶことができます。

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき



8文字まで入力できます。

4 入力が終わったら8文字目を点滅させる



余った場合は空白を入力して、8文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

Dボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

メモ

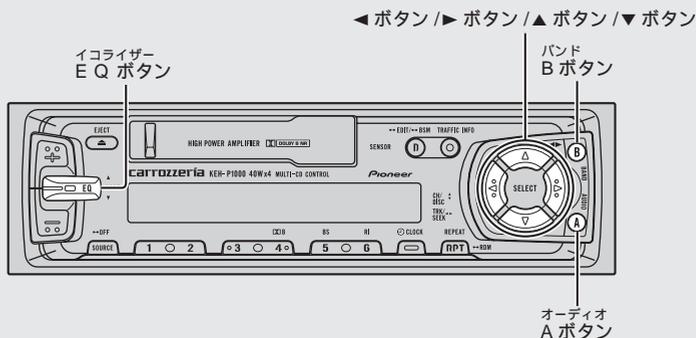
タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に、◀/▶/▲/▼ ボタン以外を押すと、タイトル入力モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

「CD TEXT」に対応したマルチCDプレーヤー (「CDX-P1240TX」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルは変更できません。)

また「CD TEXT」を再生している場合でも、次の操作はできません。

* タイトル表示の切り換え

* タイトルスクロール

音の調節
1イコライザーカーブ
を選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好み
のイコライザーカーブを選ぶことができます。

1 イコライザーカーブを切り換える

EQ ボタンを上下に動かす



イコライザーカーブ

EQ ボタンを上下に動かすと次のように切り換わります。

POWER FUL

S-BASS

NATURAL

EQ FLAT

VOCAL

CUSTOM
(音の調節④)

メモ

“CUSTOM”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブが記憶されます。

◀ ボタン / ▶ ボタン / ▲ ボタン / ▼ ボタン

音の調節
2オーディオ調節モード
の切り換えかた

音の調節をするときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを切り換える

A ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
音量バランス調節モード (音の調節④)

イコライザー調節モード (音の調節④)

ラウドネスモード (音の調節⑤ 28ページ)

FIEモード (音の調節⑥ 29ページ)

SLAモード (音の調節⑦ 30ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、B ボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (EQ 音の調節②)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：前を強めるとき

▼：後ろを強めるとき



前後のバランスはF15～R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶：右を強めるとき

◀：左を強めるとき



左右のバランスはL9～R9の範囲で調節できます。

Bボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

イコライザー調節

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

1 調節したいイコライザーカーブに切り換える

EQボタンを上下に動かす (EQ 音の調節①)

2 イコライザー調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (EQ 音の調節②)



3 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



EQ-L (低音)、EQ-M (中音)、EQ-H (高音)の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



イコライザーカーブを調節すると表示されます。

-6～+6の間で調節できます。

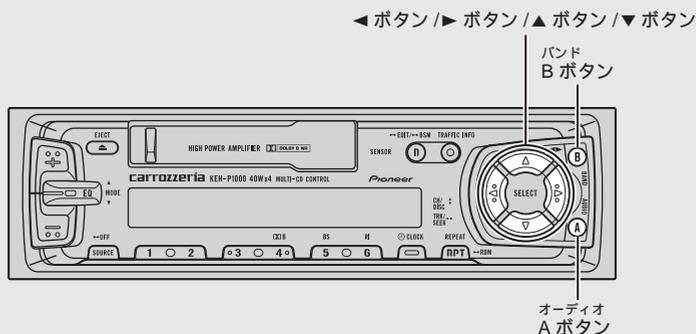
Bボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM”に記憶されます。

“CUSTOM”を選ぶには (EQ 音の調節①)

交通情報 (EQ ① 32ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。



音の調節

5

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

Aボタンを押して選ぶ
(音の調節② 26ページ)



2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

3 ラウドネスのレベルを選ぶ

◀または▶ボタンを押す

- ▶ : 効果を強めるとき
- ◀ : 効果を弱めるとき



LOW (弱)、MID (中)、HI (強) の中から選ぶことができます。

Bボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

1 FIEモードにする

Aボタンを押して選ぶ

( 音の調節 ② 26ページ)



2 FIEをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



FIEがONのときに表示されます。

3 周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶：高い周波数を選ぶとき

◀：低い周波数を選ぶとき



100、160、250 (Hz)の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より低い周波数の音が、後ろのスピーカーから出力されます。

Bボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

4 前後の音量バランスを調節する ( 音の調節 ③ 27ページ)

FIEをONにすると、後ろのスピーカーから出てくる音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスをお好みに合わせて調節してください。

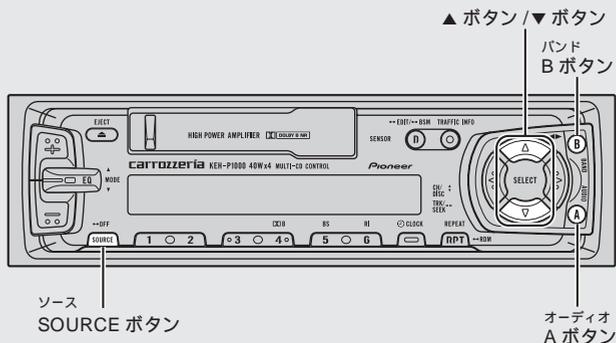
ご注意

FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

メモ

FIEとは、Front Image Enhancer (フロントイメージエンハンサー)の略です。

2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。



音の調節

7

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCEボタンを押す
(ここだけで③ 12ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCEボタンを押す
(ここだけで① 8ページ)

3 SLAモードにする

Aボタンを押して選ぶ
(音の調節② 26ページ)



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す
▲：レベルを大きくするとき
▼：レベルを小さくするとき



-4 ~ +4の範囲で調節できます。

Bボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

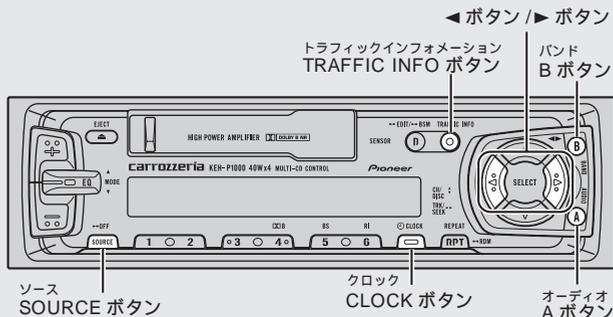
メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときはSLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、テープ、CD、エクスターナルユニット、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。

なお、1枚型CDとマルチCDおよびAMと交通情報 (その他① 32ページ) は同じ設定になります。



その他
1

交通情報を受信する

交通情報

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を受信することができます。

1 交通情報を受信する

TRAFFIC INFOボタンを押す



AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 1,629 kHzにするとき
- ◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

TRAFFIC INFOボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
交通情報を受信しているときは、交通情報用の音量を設定することができます。
交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わり、交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。

1 時計を表示させる

CLOCK ボタンを押す
ボタンを押すごとに、ON/OFF します。



時計表示

メモ

時計表示のときに他のボタン操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒間で時計表示に戻ります。

初期設定モードの切り換えかた

初期設定

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源をOFFにする

SOURCE ボタンを1秒以上押す
(☞ ここだけで① 8ページ)

2 初期設定モードにする

電源がOFFのときに、A ボタンを2秒以上押す



初期設定モードになります。

3 初期設定モードを切り換える

A ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
時計調節モード (☞ その他④ 34ページ)

AUX (外部機器) モード
(☞ その他⑤ 35ページ)

オートアンテナモード (☞ その他⑥ 36ページ)

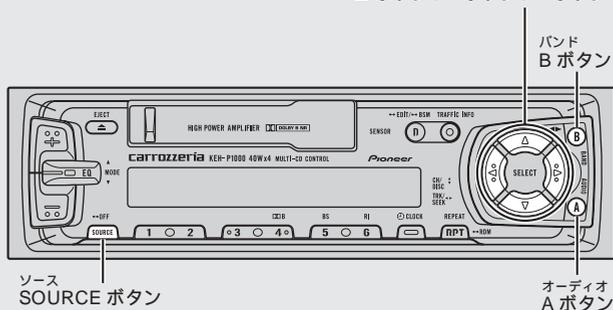
ディマーモード (☞ その他⑦ 37ページ)

時計調節モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、B ボタンを押します。(解除すると電源がOFFになります。)

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン



その他
4

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源OFFのときにAボタンを2秒以上押してから、Aボタンを押して選ぶ
(☞ その他 33 ページ)

2 「時」「分」を合わせる

「時」「分」を切り換えるとき
◀ または ▶ ボタンを押す



ボタンを押すごとに切り換わります。

時刻を合わせるとき

▲ または ▼ ボタンを押す

- ▲ : 時刻を進めるとき
- ▼ : 時刻を遅らせるとき



分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

Bボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。

詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源OFFのときにAボタンを2秒以上押してから、Aボタンを押して選ぶ

( その他 ③ 33 ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



Bボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

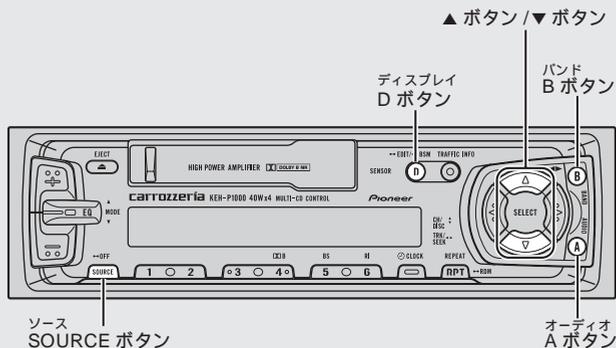
3 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

( ここだけで ① 8 ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



その他
6

テレビのときにオートアンテナをのぼす

オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (7型ワイドAVシステムTV「AVX-P707W」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのぼすことができます。

オートアンテナの設定について

設定がOFFのときは、ソースをラジオにしたときだけ、オートアンテナがのびます。

設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびるようになります。

ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

1 オートアンテナモードにする

電源OFFのときにAボタンを2秒以上押してから、Aボタンを押して選ぶ (※ その他③ 33ページ)



2 オートアンテナの設定をONにする

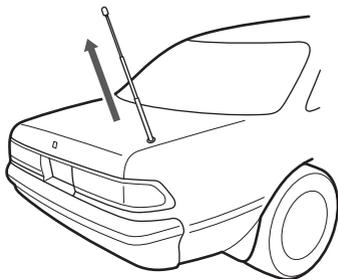
▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



Bボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをテレビにする

SOURCEボタンを押して選ぶ (※ ここだけで① 8ページ)



オートアンテナがのびるようになります。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 ディマーモードにする

電源OFFのときにAボタンを2秒以上押ししてから、Aボタンを押し選ぶ

(☞ その他 33 ページ)



2 ディマーの設定をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



Bボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

外部機器の名称を入力する

AUX (外部機器) の名称設定

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで 8 ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

D ボタンを2秒以上押す

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

保証書とアフターサービス (☞ その他① 41 ページ) をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで② 11 ページ) (☞ ここだけで③ 13 ページ) (☞ ここだけで④ 15 ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 27 ページ)
前または後のスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 27 ページ)
左または右のスピーカー から音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 27 ページ)

ラジオ

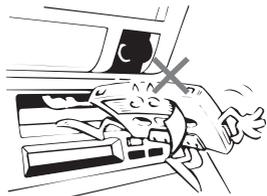
症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジー ジー、ザーザー”という雑 音が多い。	放送局の周波数が合ってい ない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 13 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 13 ページ)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくな ります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 13 ページ)

テープ

症 状	原 因	処 置
テープ再生の途中で、再生面が自動的に切り換わる。	テープがからみついている。	テープを交換してください。
テープ再生の音質が悪い。	テープの巻きかたが乱れている。	早送りや巻き戻しをして、テープを均一に巻き直してください。 (<small>☞</small> テープ① 16 ページ)
	テープの録音状態が良くない。	ほかのテープと交換してください。 良くなればテープの不良です。
	ドルビー B NR が正しく働いていない。	録音したときのドルビー NR と、本機のドルビー B NR の ON/OFF を合わせてください。(<small>☞</small> テープ⑤ 18 ページ)
	テープヘッドが汚れている。	テープヘッドの汚れを清掃してください。 (<small>☞</small> その他⑩ 40 ページ)
頭出しが正しく働かない。 リピート再生が正しく働かない。	曲と曲の間の“あき”が4秒以上ない。	“あき”が4秒以上のテープを使用してください。
	会話のように、音の途切れている部分が4秒以上続いている。	このような録音内容のテープでは、“あき”があると判断してしまうため、頭出しやリピート再生が正しく働かないことがあります。
	曲の途中で、非常に小さな音が4秒以上続いている。	

ご使用になるテープについて

ラベルがはがれかけたテープは使用しないでください。ラベルが引っかかり、テープが取り出せなくなります。このようなテープは、ラベルをはがしてからお使いください。



C-90 (90分用)までのテープをお使いください。

C-120 (120分用)のテープは使用しないでください。テープが非常に薄いため、テープが回転部分に巻き付いたり、切れたりすることがあります。

保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、テープを保管しないでください。テープが変形してしまいます。



スピーカーの近くや磁石の近くなど、磁気のあるところにテープを保管しないでください。

テープを聞かないときは、テープがゆるまないようにカセットケースに入れて保管してください。

ヘッドのお手入れについて

テープのヘッドは、月に1~2回程度クリーニングしてください。ヘッドの汚れがひどくなると、音が悪くなったり、音とびを起こしたりします。定期的にクリーニングするように心がけてください。

ヘッドのクリーニングには、クリーニングカセット「ST-650」(別売)をおすすめします。テープ再生と同じようにセットするだけで、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなど、テープデッキの内部の汚れを一度に清掃してくれます。カーステレオ販売店で買い求めください。



市販のクリーニングテープをお使いになるときは、説明書や注意書きを十分お読みください。また、一度の清掃につき片面1回だけ走行させてください。何度もテープ走行させると、ヘッドの磨耗を早めますのでご注意ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センター、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

テープデッキ部

使用テープ

パック：コンパクトカセット
(C-30 ~ C-90)

テープ速度：4.8 cm/sec.

早送り/

巻き戻し時間：約100秒(C-60)

回転ムラ：0.09% (WRMS)

再生周波数特性：30 ~ 19,000 Hz (± 3 dB)

ステレオ

セパレーション：45 dB

S/N：メタルテープ：

DOLBY B NR IN
67 dB (IHF-A ネットワーク)
DOLBY NR OUT
61 dB (IHF-A ネットワーク)

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度：11 dBf (1.0 μ V/75、
モノラル、S/N：30 dB)

S/N 50 dB

感度：16 dBf
(1.7 μ V/75、モノラル)

S/N：70 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：0.3%

(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)

周波数特性：30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)

ステレオ

セパレーション：40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 ~ 1,629 kHz

実用感度：18 μ V (S/N：20 dB)

実効選択度：50 dB (± 9 kHz)

アンプ・共通部

最大消費電流：8.5 A

最大出力：40 W x 4 (EIAJ)

定格出力：17 W x 4 (50 ~ 15,000 Hz、5% THD)

イコライザー

(3バンド

イコライザー)：(LOW)：± 12 dB

(MID)：± 12 dB

(HI)：± 12 dB

ラウドネス

コンター：LOW：3.5 dB (100 Hz)

3 dB (10 kHz)

MID：10 dB (100 Hz)

6.5 dB (10 kHz)

HI：11 dB (100 Hz)

11 dB (10 kHz)

(ポリリューム：- 30 dB)

負荷

インピーダンス：4 (4 ~ 8 使用可能)

使用電源：DC 14.4 V

(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：マイナスアース方式

外形寸法

(取付寸法)：178 (W) x 50 (H) x 160 (D) mm

(ノーズ寸法)：170 (W) x 46 (H) x 14 (D) mm

質量：1.2 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット：1

取付ネジ類：1式

取扱説明書：1

取付説明書：1

安全上のご注意：1

保証書：1

ご相談窓口・

修理窓口のご案内：1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

カーステレオ/カーナビゲーション製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818111

家庭用オーディオ/ビデオ製品に関するお問い合わせ窓口

 0070-800-818122

カタログのご請求に関する窓口

 0070-800-818133

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 1998

< 98I00F0V01 > < CRA2601-A/JS >